

留学生の声エッセイ
経営学部 徐 有辰 (ソ・ユジン)



3月末に来て



3月末に来て、もう帰る時間になったなんて感慨深いです。

最初は「6ヶ月を他の所でどのように暮らさなければならないのか。大変そうだ」と思っていたのですが、今は「あ、もう帰らなければならないなんて。残念だな」という気がしています。

韓国は効率を重視する国なので日本に来て交通などいろんな面で不便を感じました。私は韓国では日本語を専攻しているので、城西大学で経営学を学ぶことに多くの困難がありました。

はじめは難しい漢字も多く、こちらの教授の言葉の速度についていけなくて大変でしたが、時間が経つにつれてだんだん読める漢字も増えるようになり、教授の言葉もよく聞き取れるようになって、自分でも感心しています。

日本に着いて韓国から一緒に留学に来た友達のボベとルームメートになって、毎日が修学旅行に来た気分でした。



私が日本に来て一番経験したかった行事は祭りでした。

祭



運良く近くでお祭りが開かれると聞いて友達と一緒に行きましたが、韓国のお祭りと違って屋台も多く、伝統服の「浴衣」を着て楽しむ人が多くて不思議でした。



りんご飴

日本のドラマやアニメでよく見られたりんご飴も食べて、お祭りで太鼓の実演も見られて本当に楽しかったです。

またJISTメンバーたちとのイベントも楽しかったです。

実は人が多くてうるさいところはあまり好きではなく、特に人見知り激しいのでJISTメンバーたちと最初から交わることができないのではないかと一人でたくさん悩んだのですが、メンバーたちが親切にしてくれてイベントも楽しめたようです。

日本に留学に来た理由は就職する時ポートフォリオに一行でも多く書きたくて来たので、別に誰かと交流をしたいという感じではなかったのですが、思ったより多くの日本人たちと交流し、いろんな人々と仲良くなって、来る前に思っていた考えはすっかり消えるようになりました。

6ヶ月にもならない短い時間でしたが、いろんな体験をして交流をして本当に楽しかったです。日本での記憶はこれからも忘れられないと思います。留学生活が終わっても、いつかまた日本で暮らしてみたいくらいです。